

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公 開 特 許 公 報(A)

(11)特許出願公開番号
特開2025-30951
(P2025-30951A)

(43)公開日
令和7年3月7日(2025.3.7)

(51)Int.Cl.
G 0 9 B 23/30 (2006.01)

F I
G 0 9 B 23/30

テーマコード (参考)
2 C 0 3 2

審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 10 頁)

(21)出願番号	特願2023-136694(P2023-136694)	(71)出願人	309015019
(22)出願日	令和5年8月24日(2023.8.24)		地方独立行政法人青森県産業技術センター 青森県黒石市田中8番地9
		(71)出願人	598015084
			学校法人福岡大学 福岡県福岡市城南区七隈8丁目1番1号
		(74)代理人	100130823
			弁理士 三浦 誠一
		(72)発明者	葛西 裕
			青森県青森市大字野木字山口221-10 地方独立行政法人青森県産業技術センタ ー工業総合研究所内
		(72)発明者	早稲田 龍一
			福岡県福岡市城南区七隈8丁目1番1号 学校法人福岡大学内
			最終頁に続く

(54)【発明の名称】 肺動脈モデル及びその製造方法

(57)【要約】

【課題】 肺動脈の手術手技の訓練において危機感覚をもった操作の習得ができる肺動脈モデル及びその製造方法を提供する。

【解決手段】 肺動脈モデル10は、ポリビニルアルコールと水溶性多糖類との混合溶液をゲル化して成形される肺動脈主幹部及び肺動脈分枝を模した内層部12aと、内層部12aの表面にポリビニルアルコールと水溶性多糖類との混合溶液で形成される被膜をゲル化して成形される、内層部12aを包む血管鞘を模した外層部12bとが接着する2層構造からなる肺動脈部12と、肺動脈部12を接着させて取付ける肺を模した周辺組織部14とを備えるものである。肺動脈モデル10によると、肺動脈の手術手技の訓練において危機感覚をもった操作の習得ができる。

【選択図】 図1

